

# 第5回（仮称）大田区移動等円滑化推進協議会

## 議 事 概 要

日 時：平成24年2月21日（火）10：00～12：00

場 所：産業プラザ コンベンションホール「梅」

出席者：末尾に記載

次 第：

開会

議事

- 1 パブリックコメントの結果について
- 2 かまた街なか“すいすい”プラン（素案）について
- 3 今後のスケジュール
  - （1）平成24年度の策定スケジュール概略
  - （2）点検整備地区について
- 4 その他

質疑

事務連絡等

閉会

資 料：

事前郵送資料

- ・かまた街なか“すいすい”プラン（素案）案

当日配付資料

- ・次第
- ・座席表
- ・資料1 かまた街なか“すいすい”プラン 区民意見公募手続 ご意見一覧
- ・資料2 かまた街なか“すいすい”プラン（素案）
- ・資料3 かまた街なか“すいすい”プラン パンフレット

## 主な質疑応答

### 1. パブリックコメントの結果について

- 高橋委員長 : いつからホームページに掲載されるのか。  
事務局 : 本日の協議内容を踏まえ、最短で明日以降掲載する予定である。  
高橋委員長 : お気づきの点があれば本日中に事務局まで申し出ること。

### 2. かまた街なか“すいすい”プラン（素案）について

- 事務局 : 資料 2 及び資料 2-2 を用いて説明  
・以下の点について了承いただきたい  
①（仮称）大田区移動円滑化等協議会の（仮称）を削除する  
②資料 p.5 「大森スポーツセンター」及び「大田スタジアム」は削除する  
③資料 p.5 路外駐車場…の表記を修正する  
④資料 p.21(2) “等”の記載位置を修正する
- 高橋委員長 : 事務局提案について問題ないか。

#### <一同了承>

- 高橋委員長 : 情報提供となるが、国からは今年に入ってバリアフリー新法からバリアフリー法と言い換えている。また、だれでもトイレについては、多様な設備を1箇所に集中させているため、様々な利用者からの需要が高まり、混雑などによりだれでもトイレを利用しづらい場所がある。このような事態を解消するために、国でも検討を進めており、今年度中におおよその方向性が出されるようだ。
- 高橋委員長 : 国への届け出はいつの予定か。  
事務局 : 新年度早々の予定である。  
嶋田委員 : 特定事業の実施時期の判断基準を教えてください。資料 p.12「歩道の段差や勾配の解消」については27年度までにできるように思うが。  
事務局 : 27年度までに明らかにできるかどうかを判断基準としている。両方に○があるものは、諸々の条件により27年度より延びそうなものについてである。
- 高橋委員長 : 駅のホーム柵についてどう考えているのか。  
事務局 : まち歩き点検の時に要望として挙がっている。鉄道事業者の計画に基づき今後も引き続き検討していく。
- 高橋委員長 : 32年度まで明確な検討がされないのであれば資料 p.18「4-3」に項目として記載していただきたい。
- 高橋委員 : JRに関しては、ホーム柵について、まずは山手線の整備状況を踏まえ課題を整理していきたい。資料への記載については、表現方法に注意してほしい。検討する程度の表現であれば問題ない。
- 佐藤委員 : 東急電鉄では、ホーム柵については現在検討中である。

- 島村委員 : 京急電鉄では、ホーム柵については現在検討中であるが、H32 までに具体的に実施することは難しい。
- 事務局 : ホーム柵の記述については、鉄道事業者と個別調整を行う。記述内容については事務局に一任してほしい。
- 竹内委員 : 前回の協議会で、空港バスの案内表示に航空会社名を追記するよう提案したが実現していない。この件についてバス会社にお聞きしたい。
- 清野委員 : 京急バスでは、担当部署と設置の方向で検討している。
- 高橋委員長 : 特定事業としてとりあげることはできないか。
- 事務局 : 現在設置を含め検討中ということもあり、現段階では特定事業として位置づけはしていない。
- 高橋委員長 : 特定事業として位置づけなくても設置されるというのであれば、あえて特定事業として位置づけなくてもよいという判断もある。
- 嶋田委員 : パンフレットはとてわかりやすい。以下の2点について検討してはどうか。
- ①「バリアフリー法」や「おおた街なか“すいすい”ビジョン」との関係
- ②大田区が策定したものであることの明記
- 事務局 : ①についてはビジョンの概要版でふれている。本パンフレットにどこまで記載できるかどうか検討する。
- ②空きスペースに、策定主体や問い合わせ先を記載する。
- 高橋委員長 : 本日の協議内容を踏まえ、修正については、委員長及び事務局に一任とすることで了承いただきたい。

<一同了承>

### 3. 今後のスケジュールについて

#### (1) 平成 24 年度の策定スケジュール概略

- ・蒲田駅周辺地区について特定事業計画を策定する。
- ・大森駅周辺地区の街なか“すいすい”プランの検討を始める。
- ・大森駅周辺地区についても、蒲田駅周辺地区と同様の検討体制で臨む。(協議会を3回程度、区民部会を3回程度、事業者部会を数回開催予定)

#### (2) 点検整備地区について

- ・平和島駅周辺地区について検討を進めているが、本年度は基本的な調査にとどまり、当初予定していた具体的な検討まで至らなかった。
- ・平成 24 年度には、平和島駅周辺地区の具体的な調査に関する詳細なスケジュールを提示する。

閉 会

第5回（仮称）大田区移動等円滑化推進協議会 出欠状況

氏名	所属・現職	出欠（出席：○）
高橋 儀平	東洋大学 ライフデザイン学部 学部長	○
水村 容子	東洋大学 ライフデザイン学部 教授	○
江守 央	日本大学 理工学部 助手	○
宮澤 勇	NPO 法人 大身連 理事長	○
岩本 安起	大田区肢体障害者福祉協会 理事	○
渋谷 國雄	大田区視力障害者福祉協会 会長	代：道音氏
竹内 千代江	大田区聴覚障害者協会 副会長	代：音堅氏
佐々木 桃子	大田区知的障害者育成会 会長	代：清野氏
君島 文雄	大田区精神障害者家族連絡会 代表	欠
嶋田 実	大田区老人クラブ連合会 会長	○
佐藤 大助	大田区自治会連合会 会長	欠
遠藤 孝一	大田区商店街連合会 会長	○
高橋 秀昭	ひとにやさしいまちづくりを進める大田区民の会 副会長	○
高橋 健	東日本旅客鉄道株式会社 東京支社 総務部企画室副課長	○
佐藤 乙依	東京急行電鉄株式会社 鉄道事業本部 事業統括部事業推進課長	代：伊藤氏
島村 昭一	京浜急行電鉄株式会社 鉄道本部 計画営業部計画課長	代：森田氏
堀切 弘行	東京モノレール株式会社 総務部 課長	○
芳田 浩司	東京都 交通局 総務部 技術調整担当課長	代：高山氏
尾形 剛	東急バス株式会社 営業部 運輸課長	代：石氏
清野 尚	京浜急行バス株式会社 総務部 部長	代：渡辺氏
三澤 伸吾	国土交通省 東京国道事務所 交通対策課長	欠
城田 峰生	東京都 第二建設事務所 管理課長	欠
河野 秀夫	大田区 都市基盤整備部 都市基盤管理課長	○
小沼 進一	警視庁 蒲田警察署 交通課長	○
松本 均	警視庁 田園調布警察署 交通課長	欠
眞島 信彦	警視庁 池上警察署 交通課長	代：奈良場氏
磯部 守男	警視庁 大森警察署 交通課長	○
中山 順博	大田区 経営管理部 施設管理課長	○
西野 正成	大田区 教育総務部 施設担当課長	○
井端 直行	国土交通省 関東運輸局 交通環境部 消費者行政・情報課長	代：島田氏
安部 文洋	東京都 都市整備局 都市基盤部 交通企画課長	欠
水井 靖	大田区 経営管理部 経営担当課長	欠
町田 達彦	大田区 産業経済部 産業振興課長	欠
青木 毅	大田区 産業経済部 観光課長	○
田中 教彦	大田区 福祉部 福祉管理課長	欠
太田 誠一	大田区 まちづくり推進部 まちづくり推進部長	欠
伊藤 廉	大田区 まちづくり推進部 まちづくり管理課長	○

佐藤 國治	大田区 まちづくり推進部 交通企画担当課長	○
青木 重樹	大田区 まちづくり推進部 都市開発課長	欠

事務局：まちづくり推進部 まちづくり管理課

福祉部 福祉管理課

傍聴者：2名